

城北年金友の会

Vol. 25

2016年7月
盛夏号

地元再発見シリーズ
板橋・練馬界隈の旅



お客さま参加コーナー

- 思い出旅行記
- さわやかシニアライフ

城北信用金庫からのお知らせ

女性アスリート職員
支援の取り組み

別添
会員ご優待制度の
ご利用について



城北信用金庫

世界に向けてチャレンジし続ける、 女性アスリート職員が地域を盛り上げていきます！

当金庫では、フェンシング・カヌー・陸上競技・テコンドー・スキーの日本代表候補となる7選手をアスリート職員として採用しています。

スポーツは、競技に参加すること、観戦することで、常に私たちの身近に存在し、楽しませてくれるものです。

そのスポーツで世界のトップを目指すアスリートたち。彼女らが持つ日々練習に打ち込み目標に挑み続ける忍耐力、一致団結することで育まれる協調性、基本に忠実であろうとする強い意思は、私たちに多くのことを教えてくれるのです。

当金庫では、私たちの暮らしや地域のコミュニケーションを活性化させるために、アスリートの知識や経験を役立てていきたいと考えています。

日本スポーツ界の未来を担う彼女たちの今後の活躍にご期待ください！

城北信用金庫のアスリート職員をご紹介します！

フェンシング・エフ



森岡美帆

明るくチームを和ませるムードメーカーが一転、試合になると強く頼もしい一面を発揮。

カヌー・スプリント



大村朱澄

芯の強いしっかり者。カヌーを語るまっすぐな気持ちは私たちに夢を見させてくれます。

フェンシング・フルール



久良知美帆

新しいものをどんどん吸収していく柔軟性とチャレンジャー精神で成長し続けるフェンサー。

陸上競技・走り幅跳び



清水珠夏

持ち前の明るさを強さに、試合でも圧倒的な存在感で見るものを魅了します。

テコンドー



山田美諭

優しい笑顔と、柔らかな雰囲気とは裏腹に、全日本選手権5連覇を誇る実力派。

フリースタイルスキー・ハーフパイプ



鈴木沙織

前向きで思い切りの良いジャンプが魅力的。大きな期待と覚悟を胸に、世界の頂点を目指します。

大会情報	9月 8~12日	全日本カヌースプリント選手権	大村朱澄
	9月 23~25日	全日本実業団対抗陸上競技選手権大会	清水珠夏
	10月 7~10日	国民体育大会	大村朱澄

城北信用金庫のHPからアスリート情報の詳細をご覧ください！

城北信用金庫 検索
<http://www.shinkin.co.jp/johoku/>

城北年金友の会 vol. 25

CONTENTS

世界に向けて! 女性アスリート職員支援の取り組み 3

思い出旅行記
 諏訪大社・奥飛騨温泉郷と「真田」ゆかりの地をたずねて 4

秋の国内旅行のお知らせ
 北海道新幹線開業 函館夜景と青森グルメの旅 5

地元再発見シリーズ
 板橋・練馬界隈の旅 6

さわやかシニアライフ
 土佐錦魚にあふれる愛を 8

金魚おじさんの独り言/
 年金アドバイザーの活動日誌 9

郷土愛で復活! 伝統芸能
 王子田楽と飛鳥山薪能 (王子) 10

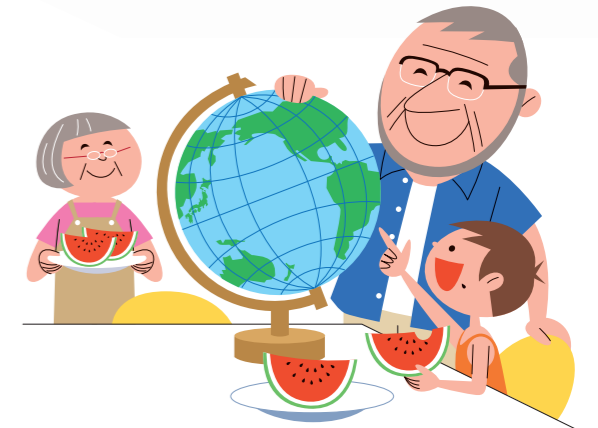


Illustration: SUNNY.FORMMART

夏に向けた備えを怠らないで!

虫による感染症予防

毎年夏になると虫を媒介する感染症の流行が懸念されます。2年前に日本でも流行した「デング熱」や、今年に入って中南米を中心に広がった「ジカ熱(ジカウイルス感染症)」など、蚊を媒介する感染症は重症化すると命にかかわることもあるため、日頃から虫に刺されないよう気を付けたいものです。

2年前、東京の代々木公園を発端に広まった「デング熱」。昨年は国内で発生しなかったものの、輸入感染者が多く行き来することや温暖化により、寒さに弱いとされる蚊の生息域が北上していることなどが感染症例の増えた原因と考えられています。

中南米を中心に流行している「ジカ熱」は、症状自体は微熱や頭痛、関節痛など軽いものですが、妊娠中の方は胎児の成長に悪影響を及ぼすリスクがあると言われています。リオ五輪観戦のためにブラジルへ渡航する方が大幅に増えると予想されており、国内でも注意が呼びかけられています。

その他にも国内で注意したいのが、2013年に山口県で初の感染者が確認されて以降、西日本を中心に広がっている「マダニ感染症」です。マダニによる感染症は夏場に発症例が多く、特に森林や畑に生息しているため、このような場所に行く場合は肌の露出を控えるなど注意が必要です。

日頃より虫による感染症対策を心がけましょう。

【外出時】

- 長袖・長ズボンを着用し、肌の露出を最小限にする
- 虫除けスプレーを使用する
- ダニやノミのいそうな動物には触れない

【室内、家の周り】

- 殺虫剤や蚊帳を使用
- 水溜まり(植木鉢の受け皿、雨どい、古いタイヤなど)を無くし、ボウフラの発生を防ぐ

企画・協力 城北信用金庫
秋の国内旅行のお知らせ

日本三大夜景函館と 星野リゾート青森屋に泊まる 函館・青森グルメの旅

3月に開業した北海道新幹線。今、大きく脚光を浴びる北の大地がより身近になりました。豊かな自然・食・文化など、日常では味わえない魅力がいっぱいの函館と青森。きっと新しい発見と感動があるはずです。

羽田空港から函館空港まで
ラクラク
ひとつ飛び!
平成28年9月ご出発
3日間7食付き



▲青森の美しい水と緑を表現した庭の池に浮かぶ青森屋の露天風呂「浮湯」
▶ラビスタ函館ベイの「海鮮丼」は具材盛り放題。



「ラビスタ函館ベイ」
大正浪漫漂う落ち着いたしつ
らえのゲストルームとラビスタ
(眺望)の名にふさわしく函館
の街並みを一望できる展望大浴
場で、ゆったりとした開放感が
味わえる宿。2011、2012
年に「トリップアドバイザー」の

心やすらぐ



※詳しくはお取引店の窓口または営業担当者まで
どうぞお気軽にお問い合わせください。



諏訪大社・奥飛騨温泉郷と真田幸村ゆかりの地をたずねて 夫婦でのんびり、 非日常の旅を堪能

木々が新緑に染まりはじめる5月
半ば、板橋区で長年、会社経営をさ
れる長谷川実さんは、愛妻・佳江さ
んと十数年ぶりにご夫婦で一泊二日
のバス旅行に参加されました。忙中
閑有、夫婦そろっての旅についてお
聞きしました。

歴史ある諏訪大社を訪れて

小雨の中、バスに揺られ約3時間。
八ヶ岳山麓の自然を車窓から眺めつ



▲「カラオケで仲間と一緒に十八番を歌ってね、年を忘れて久しぶりに盛り上がったよ!」と長谷川さん。お仲間とのひとときがとて素晴らしい思い出になったご様子。

つ、日本最古の神社の一つといわれ
る諏訪大社(長野県諏訪市)の上社
本宮に到着。ここは「安産」や「武
の神」として有名ですが、山から切
り出した大きな4本のモミの巨木を
人力で曳き建てる神事である「御柱
祭」が特に有名。寅と申の年に行わ
れる大祭が10日程前に終わっており、
「新しい御柱を初めて見ましたが、
その風格に圧倒されました。歴史あ
る神社ならではの見応えもあり、立
派な建物に心が清められる思い」
と感慨深げに話す佳江さん。

2日目朝はあいにくの雨模様でし
たが、出発の頃にはその心配も取り
越し苦労に終わったそう。立ち寄っ
た道の駅・風穴の里(長野県松本市)
では、「私は山菜に目が無くて!」
と数ある山菜の中から好物のワラビ
をお土産として購入されたそうです。
その後、国宝・松本城、そして上田

フレッシュしました」と長谷川さん
ご夫妻。
宿でくつろぎ鋭気を養う

「うぐいすの湯」で知られる奥飛
騨ガーデンホテル焼岳では、「床暖
房の効いた掘り炬燵がとても居心地
よく、地元の食材を取り入れたお料
理と地酒が美味しくて。その後、2
回目のお風呂に行ったら偶然にもお
友達とバツタリ会い昔話に花が咲き
ました」と佳江さん。

城跡内の「真田丸 大河ドラマ館」
を見学。佳江さんのお父様が上田市
出身だそうで、「子どもの頃から上
田城は何度も行くことはあったけど、
こういう旅行で改めて訪れるとまた
ひと味ちがいますね」。

「ご夫婦そろっての久しぶりの旅行
は「本当にあつという間でした」と
共に大満足だったようで、心はずで
に秋の旅行へ向いておられるご様子
それもそのはず、次回城北信用金庫
の旅行先である青森と函館は、長年
携わってきた仕事の関係で特に思い
入れのある地だそう。「長年夫婦で
旅行が出来なかつたけれど、今回を
きっかけにまた出かけたかったですね。
城北さんの旅行なら無理なく行ける
からまたお願いしますね。」ご夫妻
の楽しみがまたひとつ増えたよう
です。



志村支店お取引先
長谷川実様
長谷川佳江様

歴史と文化に触れる

北海道新幹線開通により
いま注目の街、函館!

明治末期建造のクラシックな赤レ
ンガ倉庫群はレトロな景観が魅力。
お買い物やグルメが楽しめる人気観
光スポットです。1日目の夜は、函
館山からの極上の夜景を、そして2
日目は、今や函館のグルメスポット
として名高い「函館朝市」を訪れま
す。

戊辰戦争の舞台となった 五稜郭を一望!

函館のランドマークである、高さ
107mの五稜郭タワー展望台から
は、函館山や津軽海峡、そして国の

特別史跡「五稜郭」跡の星型が一望
できます。

北海道新幹線で青森へ
迫りに満ちた青森ねぶたを体感!

青森ねぶた祭の歴史や魅力を紹介
し、ねぶたの全てを体感できる観光
施設「ねぶたの家ワ・ラッセ」。館
内には実際にお祭りに出陣したねぶ
た5台を展示紹介しており、ねぶた
祭りをより深く楽しめるようになっ
ています。

旬を食す

三方を海に囲まれた豊かな漁場を
持つ函館と雄大な自然や独特の風土
に恵まれた青森。ウニ・マグロ・イ
かななど抜群の鮮度に裏打ちされた旨
さを存分に味わいます。

「朝食の美味しいホテル20」で日本
一に選ばれた朝食バイキングで、市
場顔負けの新鮮な海の幸がたっぷり
味わえる豊富なメニューをお楽しみ
ください。

古牧温泉 「星野リゾート 青森屋」

居心地にこだわり、和の風情に心
癒される快適なひとときを青森の自
然や文化と共に堪能いただけます。
こんこんと湧き出るとろりとした湯
ざわりと、まるで池に浮かんでいる
ような開放感が味わえる露天風呂
「浮湯」でのんびりとおくつろぎ
ください。

板橋と練馬 地域に根ざした ものづくりの原点

世界の技術をリードする板橋。伝統野菜を再生させた練馬。江戸時代から受け継がれる「ものづくり」の技術と情熱をご紹介します。



▲板橋の地名の由来になったと言われる「板橋」



▲加賀前田家下屋敷跡に残された弾道検査管の標的跡



▶練馬・北町商店街に設置された「練馬宿解説板」



光学技術発祥の地 板橋から世界へ！

板橋区と聞いて何をイメージしますか？これといって思い浮かばないという人もいるかもしれません。実は、板橋区は都内有数のものづくりのまち。区内には、精密・光学機器・印刷関連産業など、高度な技術を持つ企業数が多く存在しています。有限会社三和精機製作所もその一

▶ミクロン単位の高い精度で加工していく。
▼社長の河原畑耕一郎さん。



▲三和精機製作所の皆さん。

◀どんなに機械の性能が良くなっても最後は人の手で確認する。



つ。職人による手作業で高精度のアルミ精密部品を製造しています。過去には、2km先を鮮明に映すことができる監視カメラの精密加工を担当。宮内庁やホワイトハウスに設置されるなど、その高い技術力が世界的に評価されています。

「人ができないことに挑戦することがやりがい」と話す2代目社長の河原畑耕一郎さんは、16歳のときからこの道一筋。多くの大手メーカーから絶大な信頼を得ています。

「僕は負けず嫌いだから、難しい要望にも、どう応えられるか、寝ずに考え続けるんだよ」

トライアンドエラーを繰り返し、取引先と協力会社と同業者の3つの和を大切にしながら、60年以上板橋の産業を支え続けてきました。

「課題は技術をどう継承し、発展させるか」

さて、板橋区の歴史を江戸時代までさかのぼりましょう。当時、日本橋から中山道を出発した旅人たちにとって、最初の宿場が板橋宿でした。板橋宿は江戸側から平尾宿、仲宿、上宿の三宿で構成され、上宿と仲宿の境目にある石神井川には、地名の由来となった「板橋」が架かっていました。仲宿と平尾宿の境目には観明寺。平尾宿のそばには、約21万8000坪という広大な加賀藩前田家の下屋敷がありました。歴代の藩主たちが、参勤交代のときに休

憩や、狩猟・宴遊会などで使ったとされる豪華な場所だったのです。

幕末の嘉永6年（1853）、浦賀沖にアメリカのペリー艦隊が来航してから事情が一変。前田家の下屋敷は江戸防備のための大砲を製造する場所として使われることになりました。明治の初めには陸軍の火薬製造工場が発足し、軍需工場の大集積地が形成されていきました。そして、

その技術力は昭和の時代から、双眼鏡・望遠鏡・一眼レフカメラなどの光学機器や精密機械の製造へとつながっていったのです。

お殿様にも献上した 伝統野菜・練馬大根

昭和22年（1947）8月1日、

板橋区から分離独立したのが練馬区です。江戸時代、練馬の唯一の宿場町だった下練馬宿は、板橋宿（平尾宿）から分岐した川越街道の2番目の宿場町でした。現在は商店街となつていますが、付近を歩いてみると、お殿様に練馬大根を献上している絵が描かれた看板を見つきました。練馬といえば練馬大根！ さっそく、江戸時代から練馬大根を作っているという農家の6代目・渡戸章さんを訪ねました。



▶練馬大根の花。

「これが練馬大根の花。黒土だから、練



▲収穫されたばかりの練馬大根。長さは1mにもなり、大人でも引き抜くのが大変。

▲収穫した練馬大根は「たち編み」と呼ばれる練馬特有の干し方で、2週間ほど乾燥させる。

▶昭和9年（1934）生まれの渡戸章さん。トマトのハウスにて。

馬大根！ さつ



馬は根菜がよく育つんだよ」

平和台駅近くの畑では、大根の種を採るために畑に残した株に蔓が立ち、白い十字の花を咲かせていました。8月中旬から9月中旬までに種を蒔き、11月下旬に収穫するのだといます。

収穫した4000本の大根は、きれいに洗って2週間ほど天日に干し、塩や米ぬかなどに漬けます。

1カ月以上経ったら、練馬大根の「たくあん漬け」の出来上がり。

「若い人たちはスーパーで売っている黄色いものをたくあんだと思っているけど、あれは偽物。子どもたちには本物の味を教えたい」と、大根の収穫体験や、小中学校での食育も積極的に行っています。

人の手から手へ 技術を次世代につなぐ

農地の激減や食生活の変化により、昭和30年代以降はほとんど作られなくなってしまったという練馬大根。渡戸さんの手によって復活しましたが、まだ課題は多いようです。

「練馬大根を作る農家も少しずつ増えてきたけれど、まだ少ない。もっと多くの人に食べてもらって、練馬大根を途絶えさせないようにしないと」

その土地に根付き、先人たちの暮らしとともに確立されていった産業や農業。次世代へ継承していくためには、地元の人たちのためめ努力と工夫が欠かせません。私たちにできることはまず、見て、聞いて、知ること。次は、大根の収穫時期に来ますと約束し、渡戸さんの畑をあとにしました。





ペットロスの悲しみを乗り越えて、土佐錦魚にあふれる愛を。

足立支店 お取引先 大出秀夫 様



▲赤白（更紗）や金色が美しい土佐錦魚。尾が大きくて目先が長く、口が細く尖っているものほど良いとされる。

水の中で輝く赤と白、ゆらゆらと揺れる大きな尾。金魚の女王とも称される土佐錦魚（とききん）は、江戸時代に高知で生まれ、県の天然記念物にも指定されている純粋な国産金魚です。全国に愛好家が多くいますが、足立区に住む大出秀夫さんも、その美しさに魅せられた一人。関東土佐錦魚保存会に所属し、毎年10月に行われる品評会で関脇や小結といった上位入賞魚を輩出しています。3階建てのご自宅の屋上におじやますると、一面に丸や四角の鉢が置かれ、そのなかで泳ぐ土佐錦魚の姿を見ることができました。別の鉢には珍しい種類のメダカもいます。「エサをあげるとき、上がってくるの

がかわいいんだよ。良い子に育てよと、1匹1匹観察するのが楽しいね」

都営バスの運転手として定年まで勤め上げ、地元で剣道も教えていたという大出さん。小さい頃から動物が大好きで、家族みんなで大切にしていた愛犬が死んでしまったときには「とてもつらかった」と言います。そんな大出さんを癒してくれたのが、友人に勧められて飼い始めた土佐錦魚の存在でした。

「当歳魚（1年目）のときに美しくても二歳魚（2年目）で崩れてしまったら、その逆の場合もある。どうなるかわからないところが魅力かな」美しく健康な土佐錦魚を育てるには水質管理が大切で、夏場は日陰を作り、酸素が不足しないようにこまめに水替えをします。エサは自前のミジンコや、兵庫や大阪から取り寄せた赤虫などを専用の冷凍庫に保存して与えます。甲斐甲斐しい大出さんの様子を傍らで見守るのは奥様の利江さん。「主人



▲屋上で土佐錦魚の世話をしている。自然のまま強く育てるのが大出流。



◀荒川土手の近くで生まれ育ったという大出さん。明朗快活なお人柄。

の道楽だから私は全然手伝わないの。でも水道代が高くて困っちゃうわ」とお茶目に笑います。愛犬の死による悲しみを、土佐錦魚の育成によって乗り越えた大出さんを見て、家族もまた癒されていることが伝わってきます。「うちの土佐錦魚やメダカが欲しかったら言ってね」と太っ腹な大出さん。「大事に育てたのに、あげてしまってもいいんですか？」とたずねると、「土佐錦魚の魅力を知って大切に育ててくれる仲間が増えたら、土佐錦魚の普及につながるからね」と、豪快に笑うのでした。

大出秀夫さん

【お住まい】足立区千住大川町

金魚おじさんの
独り言



縁日の和金

土佐錦魚の尾ひれ、とても優雅で美しいですね。大出さんの金魚に対する想いが伝わってきます。

ところで一口に金魚と言っても土佐錦魚のような高級魚から縁日の「金魚すくい」で見られる和金などその種類は50以上といわれています。

金魚すくいでも和金を持ち帰った経験があまりの方も多いと思いますが、せっかくだから、出来るだけ長く飼育したいものです。

和金は飼育が容易で庶民的でもあります。実は「金魚すくい」の金魚はとも弱っています。産地からの長旅で酸欠になつていたり、子供たちに追いかけて回されているからなのです。持ち帰った金魚は、塩素抜きをした新鮮な水に入れてあげましょう。その際に、出来れば水1リットルに対し、粗塩を1g

ラムほど入れると、殺菌作用と金魚の代謝力を上げる効果があるとされています。

本来、金魚は丈夫なので、2〜3日エサをあげなくても心配ありません。ただ、縁日の金魚は疲れているため、エサはすぐに与えず、翌日まで待つてから少しだけあげてください。

水換えは1週間に一回、全体の3割くらいを換えるのが良いでしょう。一度に全部取り換えると、水槽の中で育った良いバクテリアが全部いなくなり、浄化作用が落ち、かえって水質が悪化しやすくなります。

飼育のコツは「きれいなお水」と「エサを少なめにすること」です。上手く育てると和金は5年以上生きることがありますよ。みなさんが楽しい金魚ライフを送る為の一助になれば幸いです。

金魚おじさん「S」

年金アドバイザーの活動日誌

No. 08



赤羽支店
年金アドバイザー
浅香憂子
あさか ゆうこ

赤羽支店・年金アドバイザーの浅香憂子と申します。東川口支店から昨年11月に異動して参りました。アドバイザーとして日々活動していると、複雑な年金の仕組みについてご説明するだけでなく、様々なお話を聞かせていただくこともあります。お客さまとの会話の中で、人生の先輩としてアドバイスをいただけた時は大変うれしく思います。年金アドバイザーとして、今まで年金を受給できないと思っていた方ができるようになったり、受給額が増えたりする

ことでお客さまに喜んでいただいた時は、自分のことのように嬉しいものです。以前、受給資格期間が足りないために60歳以降も保険料を納めていた方から、期間を満たしたので手続きをしてほしいとのご連絡を受け、お話をうかがうと、20歳以降に学生だった期間があるとのこと。その期間は本来受給資格期間に含まれるので、これを算入すると60歳から年金が受給できたはずでした。そこで、お客さまに在籍証明書を取得してもらい手続きをすすめたところ、遡って年金が支給されることになり、予想外のまとまった受給金額となりました。お客さまに大変喜んでいただきその時は、この仕事をしています。

お客さまに「年金のことなら浅香さんがいてくれるから安心」と頼りにされるアドバイザーを目指して頑張りますので、何かご不明な点やご質問等ございましたら是非お声掛けください。お待ちしております。



郷土愛で復活



下町っ子が受け継ぐ中世の民俗芸能・王子田楽。よみがえった芸能は、地域の宝として守り伝えられている。写真は「七度半の儀礼」の様子。今年の王子田楽祭は、8月7日（日）16：30より行列開始の予定

毎年8月の王子神社例大祭最終日の夕刻に催される「王子田楽」。第二次大戦以降中断していたが、1983年に地元有志により復興。下町に残る日本古来の思想を伝える王子田楽とは――。

未来へと守りつなぐ伝承芸能王子田楽

芸能の基本的要素を
伝承してきた王子田楽

8月の灼熱の太陽の下、笛や太鼓の音に合わせて「しゃらり、しゃらり」と「びんざさら」を打ち鳴らし、赤い魔除けの垂れ紙が付いた花笠をかぶった地域の子ども達が優雅に舞い躍ります。「王子神社田楽舞」の出演者たちは世代を越えて壮大な歴史をつなぐ舞台を創り出します。

「王子神社田楽舞」の起源は遠く鎌倉時代にまで遡ると言われていますが、田楽そのものの起源ははっきり分からないほど古く、奈良時代から平安時代の頃にはじまったとも言われています。

中世の面影を今の時代に伝えるこの民俗芸能は、全国でもわずか50程しか残っていないと言われる大変珍しく貴重な「躍りの田楽」です。さきの戦争で社殿や舞殿をすべて焼失してしまつた王子神社は、田楽舞を一旦中断せざるを得ませんでした。昭和58年、「王子田楽衆」代表を務める高木基雄さんをはじめとした地

域の人々の熱烈な郷土愛と血のにじむような努力に奇跡的な偶然が重なり、戦後40年ぶりにようやく田楽舞を復興させることができたのです。

予期せぬ出会い、そして復興に向けての情熱

「当初は復興など考えていなかった」と、地域のために現在でも精力的に活動が続いている高木さん。王子神社でたまたま江戸時代の王子田楽を描いた絵を見つけ、「琴線に触れるものがあつて」。それ以来、俄然興味を持ち始めたそうです。時は昭和50年代、当時30代だった高木さんは、口承を頼りに、躍りや曲、楽器、そして衣装などを一つひとつ丁寧に調べあげました。「地元の人々から口伝えに話を聞く機会があつたからこそ出来た」と感慨深げに話す高木さん。残された資料を元に「史実に忠実に」を貫くため、ひたすら探究に没頭する孤高の取り組みに、時に迷いに迷つて眠れない日々を過ごしたそうです。「こんな素晴らしいものを世の中に形として残さないわけに

はいかない」と自分に与えられた使命として王子田楽舞の復興に向けて邁進しました。

復興当初は3畳ほどの稽古場に集まり、時に道端でも稽古をしていたと話す高木さん。心無い人々から中傷される中、王子神社の氏子総代の重鎮たちを相手に一人ひとり復興にむけ説得に努めました。復興への熱い思いを叶えるよう我慢と懸命の努力に、周囲の理解も徐々に深まり、仲間がひとりふたりと増えていきました。そして、王子神社を中心とした町会が丸となって活動をサポートした結果、昭和62年（1987年）に北区の無形民俗文化財の指定を受

けます。世代と時代を超えて住民同士の交流や団結力が強まることで地域の人と人とを結ぶ絆にもなつていったのです。

田楽の枠を越えて次世代につなぐ

躍り手の子ども達に、躍りを通して王子のことを大切に思う気持ちを育んで欲しいと願う高木さん。一方で、見通しのきかない将来に対応していかなければならない厳しさや、ふるさとを知らずに育っていく子ども達に、地域の伝統を伝えていく難しさも感じるそうです。「日本文化をよく見ている外国人に活路を見出すことも選択肢の一つかもしれない」

との真顔が印象的でした。

自分たちで街を魅力あるものにするためには、「田楽」だけに収まらず様々な切り口から取り組む必要がある」と言います。ひとつの達成感が次の好奇心を育て、高木さんは現在更なる地域復興を進めており、来る9月11日（日）に向け「穂立て祭り」を準備中。これからも王子田楽衆の活動から目が離せません。



▲「心がひとつになると、とても大きな力になるんです」と丁寧に語る「王子田楽衆」代表の高木さん。

生まれ育った飛鳥山に能を

江戸時代、将軍家の菩提寺のある上野の山では歌舞音曲はご法度とされていました。このため、徳川八代将軍吉宗は、飛鳥山に桜を植え、広く庶民に開放したため後に花見の名所として名を馳せるようになりました。飛鳥山は当時「仮装・鳴り物・音曲おかまいなしでたいそう賑わった」と伝えられています。

自然の地形をそのままに生かした飛鳥山公園（北区王子）の一角に設えられた野外の能舞台である「飛鳥山新能」は、平成15年（2003年）から開催されています。郷土をこよなく愛した能楽師の故・木村薫哉氏が、「生まれ育った飛鳥山に能を」との熱い思いから、ここ飛鳥山で新能をはじめました。

木村氏の志を継ぎ、飛鳥山新能実行委員のメンバーを中心に地元の人々や地域、企業の協力のもと毎年秋に開催する運びとなり、今年も例年通り、飛鳥山能舞台にて野村万作氏・萬斎氏ほかの出演者を迎え開催される予定です。

秋の飛鳥山の木立を吹き抜ける夜風を肌で感じながら、日本文化の素晴らしさと幽玄な能の世界を心ゆくまでお楽しみください。



第十四回 飛鳥山新能

- 開催日 2016年10月19日（水）
- 会場 飛鳥山公園内 野外舞台
- 通常電話予約 チケットぴあ 0570-02-9999（Pコード：451-665） 北とびあ1階チケット売り場（窓口のみ10：00～20：00）ほか

大震災の教訓を忘れないためにも

今やろう。災害から身を守るすべてを。

9月1日は「防災の日」

大地震や台風などの災害から身を守るためにも、災害時の食料備蓄や避難方法の確認についてご家族で改めて話し合い、見直してみましよう。

10の防災アクション



日常備蓄を始めよう



非常用持ち出し袋を用意しよう



大切な物をまとめておこう



部屋の安全を確認しよう



家具類の転倒防止をしよう



耐震化をチェックしよう



避難先を確認しよう



家族会議を開こう



災害情報サービスに登録しよう



防火防災訓練に参加しよう



東京都発行「東京防災」

知ってて便利! つながって安心! いざという時に役立つ

「災害時伝言サービス」

災害時には被災地に向けて電話が集中し通信規制が敷かれる為、携帯電話や固定電話はつながりにくくなることがあります。災害対策のひとつとして、事前に「災害時伝言サービス」の使用方法を確認しておきましょう。

- 災害用伝言版** 各携帯電話会社が電子掲示板を用いて安否を確認できるサービス
- 災害用伝言ダイヤル(171)** ... 171 (イナイ) をまず覚えましょう。被災地に電話が集中してつながりにくくなった場合、固定電話の番号を使用してメッセージを録音、再生できる声の伝言板サービス
- 災害用伝言版web171** インターネットを利用して被災地にいる方の安否確認を行う伝言板サービス